

建学の精神

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」

本学園は、明治21(1888)年に創設された済々黌附属女学校をその源としており、同校創設に際して創立者の佐々友房らが遺した「済々黌附属女学校創立ノ主旨」の中には、女子教育の必要性、女子教育の理念などについて縷々述べてあり、その中から建学の精神を表す箇所について要約したものです。

教育理念

「尚綱 表面を飾らず内面の充実に努める」

本学園は、校名である「尚綱」の二字に凝縮された言葉をもって教育の理想の姿とし、本学園の教育理念としています。


「尚綱」とは、中国の古典『中庸』の一節、「衣錦尚綱」(錦を衣て綱を尚ふ)、すなわち、錦を着た場合はその上から薄物をかけ、きらびやかな模様を表に出さないようにするという君子の道のあり方を説いた句に由来しています。この句には、表面を飾らず内面の充実に努めるという、人としての心構え、あり方が含意されています。

建学の精神

智と徳を兼ね備え社会に
貢献し得る女性の育成

教育理念

尚綱 表面を飾らず
内面の充実に努める



(書:久多見 健/尚綱大学文化言語学部名誉教授)

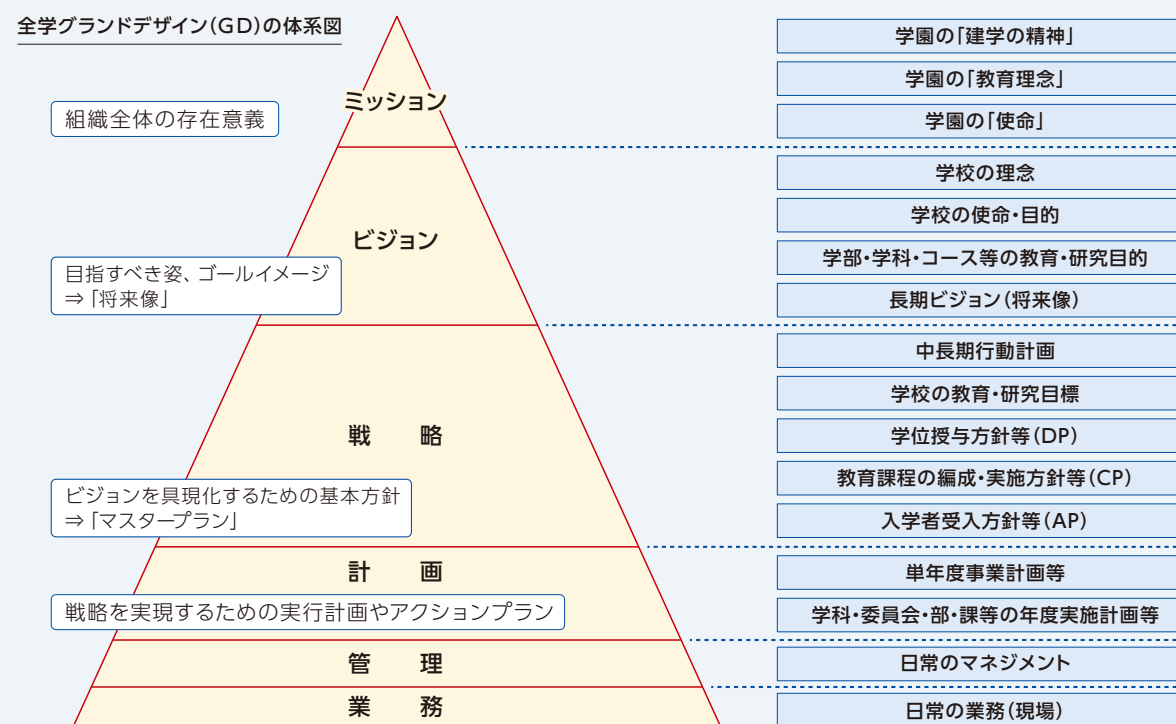
全学グランドデザイン

全学グランドデザイン(GD)の制定

本学園を取巻く環境は今後さらに厳しくなるとともに、一段と加速することが予想される中、社会に支持される学園・学校であり続けるためには、絶えず教育・研究の維持・向上を図り、弛まぬ改革・改善に取り組む必要があります。そのためには、進むべき方向を明確にし、既に策定している中長期行動計画や単年度事業計画の見直しと立案を適切に行い、着実に計画を推進していかねばなりません。

その一環として、今回「全学グランドデザイン(GD)」を策定することにより、学園全体の建学の精神や教育理念、使命、各学校の理念、使命・目的及び目標、更には学則、中長期行動計画をはじめとする諸計画や3つのポリシー、方針等の位置付けを明確にし、今後の学園並びに各設置校の教育・研究及び経営の管理・運営の指針とすることとしました。

全学グランドデザイン(GD)の体系図



学校法人尚綱学園 行動規範(抄)

学校法人尚綱学園(以下、「学園」という)は、建学の精神、教育理念のもと、教育機関としての公共性と社会的使命を果たしつつ、学園の持続的な発展を図るため、役員及び教職員が遵守すべき行動の基準・指針として、ここに行動規範を定めます。

1. 建学の精神、教育理念に基づく人材の育成
2. 高い倫理観を持った研究活動
3. 開かれた学園づくりと社会貢献
4. 法令等の遵守
5. 人権・人格の尊重
6. 情報の公開と保護・管理
7. 健全な学園環境の構築
8. 自然環境への配慮
9. 資産・資金等の適正な管理・運営
10. 公正かつ適正な入学者選抜
11. 自己点検・評価の実施